

保護者様

杉並台幼稚園

園 だ よ り

7月、梅雨明けが待ち遠しい頃となりました。

この度の豪雨により被災された皆様におかれましては、大変な日々をお過ごしのこと心よりお見舞い申し上げます。園生活においては、登園が再開され1ヶ月が過ぎました。保護者の皆様には、日頃より園の取り組みにご理解とご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。今年度は、1学期早々、感染症予防や大雨等、命を守るための行動について考える日々が続いています。園では、子どもたちがご家族や教師等の身近な大人に守られているという安心の中で、様々な状況を想定した訓練（火災・地震・防犯・バス等）を経験しながら、『自分でも大切な命を守れるようになる』ことを目標にしています。

ご家庭でも「こんな時どうしたらいいかな」とお子様と確認する機会を大切にいただければと存じます。

学び合いを大切にしましょう

さて、新入园児の子どもたちも少しずつ園生活に慣れてきました。

幼児期は、“心や言葉が未発達”であることから、『相手に自分の気持ちが伝わらない時や相手の行動や気持ちが理解できない時』などに、その悲しさや悔しさが不安やイライラとなり、かみついたり引っかけ、乱暴な言葉として現れてしまうこともあります。そのような時、園では、次のようなことを心がけています。

①事実の確認 『どうしてかな？ 一緒に考えてみよう！』

双方の話をじっくり聞きます。

トラブルが起きた場所でその時の状況を子ども達と一緒に振り返り、『なぜそうなったのか』を考えます。

②問題解決に向けて

それぞれの思いに寄り添いながら安全や解決策など『今後どうしたら良いか』について子ども達と一緒に考えていきます。

このような幼児期のぶつかり合い（けんか）は、幼児期の発達過程では大切な経験です（勿論、ぶつかり合い〔けんか〕は避けるべきものであり、それが命の危機や重大事故につながるようなことがあってはならないことです）。けんかをしながら互いに『思いやり』や『やさしさ』など、人としての付き合い方を学んでいきます。

ご家庭のご協力もお願いすることがあります。

子ども達の健全な成長のため、ご家庭と園の意思の疎通が大切です。ご協力よろしくお願ひいたします。



お世話になっております！ —お母さん先生—

昨年度より送迎バスと給食配缶・配膳のサポートとして研修を受けられた保護者の方々が、お母さん先生として6月の登園再開時から園に勤務されています。（令和元年度3学期に募集、履歴書提出後面接、採用の運びとなられた保護者の方が、研修後、業務を実践されています。）お母さん先生方は担当業務のみならず、どんな時も子どもたちに優しく声をかけサポートしてくださっています。保護者でもあるお母さん先生方は、愛情いっぱい、温かな雰囲気でお母さん先生方を見守ってくださっています。

— 送迎バス —



「大丈夫かな?」「頑張っているね!」と見守り、子どもたちの自立に向けてサポートしてくださっています。



バスの避難訓練についての確認



関様 尾曲様

— 給食配管・配膳 —

6月4日より給食が開始され、子ども達は、友だちと笑顔で給食の時間を過ごしています。満三歳ひよこ組や年少組の新入園児たちの中には、初めて出会う食材や料理に喜んだり用心したりする愛らしい表情も見られています。「みんなで食べるともっとおいしいね」「いろいろなものが食べられるようになったよ」と食する喜びや感謝、その大切さに気がつき、健康で意欲的な日々を送ってくれるよう、ご家庭、園、専門委託業者と共に協力し合いながら心身の成長を育てていきたいと考えております。



赤星様

河野様



日高様

—「うふ！全部食べたよ」嬉しそうな笑顔ですね。—

